

ワークショップ 活動報告

枚方市駅周辺再整備④街区民間活力導入エリアの
あり方を考えるワークショップ

[2021年8月7日・21日]

令和3年9月

枚 方 市

目 次

1	はじめに.....	1
1-1	ワークショップの目的.....	2
1-2	ワークショップのプログラム.....	2
1-3	ワークショップの進め方.....	2
2	活動経過.....	3
	第1回ワークショップ.....	4
	第2回ワークショップ.....	6
3	まとめ.....	8
3-1	ワークショップのまとめ.....	9
3-2	参加者へのアンケート結果.....	10
3-3	むすび.....	11
4	資料.....	12
4-1	第1回ワークショップの結果.....	13
4-2	第2回ワークショップの結果.....	20

1 はじめに



1-1 ワークショップの目的

枚方市では、枚方市駅周辺の再整備の具体化を図るため、令和3年3月に「枚方市駅周辺再整備基本計画」(以下「再整備基本計画」という。)を策定し、「再整備基本計画」に掲げるまちの実現に向けて取組を進めています。

今回、再整備の具体化を図るにあたり、以下について、市民の方々のアイデアをお聞きするためワークショップを開催しました。

- (1) ④街区の民間活力導入エリアにどのような施設や機能を導入すれば公園などと一体となった賑わいや活気生まれる空間になると思いますか
- (2) ニッパーク岡東中央の機能を拡充するとき、どの様な公園・広場であれば利用したいですか

みんなで想いやアイデアを出し合った、「ワークショップのまとめ」として報告を行います。

1-2 ワークショップのプログラム

第1回 ワークショップ（令和3年8月7日（土）9:30～12:00 別館4階 第3・4委員会室）

【目的】 「再整備基本計画の概要や他市事例の共有を図り、④街区の将来イメージを検討する」

- 【内容】
- ・ワークショップの開催目的と目標の明確化を図る
 - ・現状の共有を図る（再整備基本計画の概要説明及び庁舎屋上より現地視察）
 - ・他のまちづくり事例の共有を図る
 - ・④街区のコンセプトやキーワードなどについてのグループワーク

第2回 ワークショップ（令和3年8月21日（土）9:30～12:00 別館4階 第3・4委員会室）

【目的】 「④街区の民間活力導入エリアに必要な機能や施設及び公園・広場のあり方を整理す

- 【内容】
- ・第1回ワークショップを振り返る
 - ・班ごとに、コンセプトやキーワード実現に向けた都市機能や施設、公園・広場のあり方
 - ・ワークショップ全体のまとめと結果の共有

1-3 ワークショップの進め方

ワークショップでは、参加者が対等な立場で、お互いに自由な発想・アイデアを尊重し合いながら話し合いを行うことが重要です。その討議を行う環境づくりや準備を行うため、ワークショップ経験のある第三者が全体およびグループワークを取りまとめるファシリテーターとなり、ワークショップの運営を行いました。

限られた時間の中で皆様からの様々な意見を抽出し、方向性をとりまとめるため、ワークショップは、集まっていた約40名の参加者が6つの班（テーブル）に分かれ、グループワークを行いました。テーブルごとにファシリテーターを配置し、グループワークが円滑に行われるようサポートしました。

2 活動経過



第1回ワークショップ

開催：令和3年8月7日（土）
時間：9時30分～12時
場所：市役所別館第3・4委員会室
参加者数：38名

●第1回ワークショップの目的

『再整備基本計画の概要や他市事例の共有を図り、④街区の将来イメージを検討する』

1. 《お願い》

開会に先立ち、市より新型コロナウイルス感染拡大防止対策への協力などのお願いを行いました。

2. 《開会》

市長からの挨拶後、市より、ワークショップの目的や全体プログラムなどを説明しました。

3. 《情報の共有》

市から、ワークショップ開催の背景となる、「枚方市駅周辺再整備基本計画」の概要説明や庁舎屋上からの現地視察により現状の共有を行いました。その後、ファシリテーターから、他のまちづくり事例を共有しました。

4. 《グループワーク》

「④街区のコンセプトやキーワードなどについて」

6つの班にはそれぞれにテーブルファシリテーターがつき、グループワークを開始しました。

まず、自己紹介やアイスブレイク（緊張をほぐすための簡単なゲームなど）を行い、場の雰囲気をやわらげた後、テーマである「④街区のコンセプトやキーワードなど」について「ふせん紙」に書き出していきました。書かれた意見をもとに、皆で自由に意見を述べながら、共通する内容ごとに模造紙に貼って整理していきました。



↑ 市長挨拶の様子



↑ 庁舎屋上から現地視察



↑ ふせん紙にたくさんの意見を書き出し

5. 《グループ発表》

グループでどのような意見が出たのかを各班の代表者が発表し、参加者全体で共有しました。

●主な意見（※抜粋）

≫全体のコンセプトやキーワード

- ・人が集まり、交流が生まれる
- ・定住につながる・環境にやさしい
- ・ワクワク・魅力発見・宝探し
- ・幅広い世代の交流・若者を取り込む・子供が安心して過ごせる・異文化交流
- ・「ここにしかない」価値を作る
- ・一体的・シームレスに利用するまち
- ・ユニバーサルデザイン・バリアフリー
- ・SDGs

≫施設のキーワード

- ・スポーツ・近隣にない商業・道の駅・体験型・コワーキング・インキュベーション拠点・文化・駐車(駐輪)場・飲食(イートイン、テイクアウト)・デザイン性・おしゃれ過ぎない・市民活動拠点・託児機能

≫公園・広場のキーワード

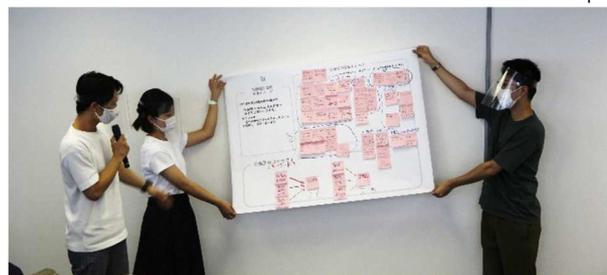
- ・緑が多く、芝生がある・憩える空間・寝そべることができる・涼める空間(木陰や水遊びなど)・施設からのにじみ出し・ペットと楽しめる・アウトドア(BBQやグランピングなど)ができる・夜でも安全安心・イベントができる(しやすい)

≫その他のキーワード

- ・周辺の自然や川原町との繋がり・災害時の一時避難場所・シンボリック・IOT



↑書き出した意見を分類して整理



↑各班の参加者が発表

6. 《討議まとめ》

最後に全体を通して振り返りを行い、意見を整理しました。各班の意見は様々でしたが、幅広い(世代や異文化)交流やみどりの空間など、共通するキーワードも見られました。次回は、今回まとめたコンセプトやキーワードの実現に向けて、必要な機能や施設、公園・広場の在り方などについてグループワークすることを確認しました。

第2回ワークショップ

開催：令和3年8月21日（土）

時間：9時30分～12時

場所：市役所別館第3・4委員会室

参加者数：35名

●第2回ワークショップの目的

『④街区の民間活力導入エリアに必要な機能や施設及び公園・広場の在り方を整理する』

1. 《お願い》

開会に先立ち、市より新型コロナウイルス感染拡大防止対策への協力などのお願いを行いました。

2. 《前回の振り返り・情報の共有》

前回のワークショップの振り返りを行った後、第2回は、コンセプトやキーワードの実現に必要な機能や施設、公園・広場の在り方などについてグループで討議していただき、班ごとに発表するという目標を共有しました。

グループワークを進めるにあたり、ゾーニングの考え方や検討方法などについて共有しました。

3. 《グループワーク》

「コンセプトやキーワードの実現に向けた都市機能や施設、公園・広場のあり方の検討」

6つの班には前回同様各班にファシリテーターがつき、班ごとに第1回の振り返りを行い、改めてコンセプトやキーワードの確認をしました。その上で、ゾーニングの考えや民間活力導入エリアに必要な都市機能や施設及び公園・広場について「ふせん紙」に書き出し、模造紙に整理しました。

次に、必要な都市機能や施設をどこに配置し、公園・広場をどのように使うのか、「ゾーニング」に落とし込みました。班の意見をとりまとめ、白地図上に画用紙や色ペンで表現していきました。



↑グループワークの様子

4. 《グループ発表》

各班の発表者が「都市機能や施設、公園・広場のあり方」について、どのような意見があって、どう考え・整理したのかを順番に発表していきました。

5. 《討議まとめ》

各班から出された「都市機能や施設、公園・広場のあり方」を集約すると、共通項もありながらも、班ごとの視点もあり、重要視されるポイントがみえてきました。ワークショップ全体を通して、④街区にどのような機能や施設及び公園・広場空間が望ましいのかについて方向性を示すことができました。



↑ A班の発表の様子



↑ B班の発表の様子



↑ C班の発表の様子



↑ D班の発表の様子



↑ E班の発表の様子



↑ F班の発表の様子

3 まとめ



3-1 ワークショップのまとめ

		A班	B班	C班	D班	E班	F班
コンセプト		巡り つながる 縁（緑）のまち	幅広い世代が集う 次世代と地域に つながる空間	駅から一步踏みだせば あなたのライフ ステージを彩るまち	枚方 × 交流 ができる場所 『ひらば』	余白・広い・自由 交流・くつろぎ 人を呼び込める	いつでも人が つどえる つながる街
ポイントとなる キーワード		<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市民になりたい」と思えるまち お金がなくてもブラブラできるまち 循環・リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> 圧迫感のない低層建物 子育て、高齢者、障がい者等多様な人が集う シェアードストリート（歩車共存道路） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなビジネスやアイデアが生まれるまち くずはモールとは異なるまち 	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティにより交流・連携を促す 気軽にスポーツ参加 多用途（砂浜・芝生） 社会実験 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な意見があるの で、コンセプトを押し つけない 大きなハコモノをつく らない 	<ul style="list-style-type: none"> 大屋根のある3層（屋上・地上・地下）の大きな広場 市内大学と連携し市民が学びを深められる
民間 活力 導入 エリア	都市 機能	<ul style="list-style-type: none"> 外国語カフェ パソコン、スマホ相談 リサイクル・修理店 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食、文化、福祉 子育て支援（保育所） 児童発達支援（放課後等デイサービス） 障がい者就労支援など 	<ul style="list-style-type: none"> オフィスやマンションなど暮らしの機能（先端企業の本社を誘致） 体験、滞在ができる 	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーション フューチャーセンター ※官・民・産・学等が連携し学び、企画 子どもの遊び場 	<ul style="list-style-type: none"> 外から人を呼び込むためのスポーツ施設 夏は涼しい水辺、冬はスケートリンク 	<ul style="list-style-type: none"> サテライトキャンパス フードコート スポーツ（フットサル） タワーマンション
	施設	<ul style="list-style-type: none"> 長屋のような低層店舗 ボルダリング、スケートボード場 	<ul style="list-style-type: none"> T-S I T Eのような3~4階程度のお洒落な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ARパーク（Eスポーツ、企業の実験） D I Yホームセンター 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援センター スポーツエリア（ビーチスポーツ、フットサル等） 図書館、博物館 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外スポーツ施設（スケートボード、BMX等） 屋根付き人工芝エリア 小さな店、カフェ 	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設にフードコート、レストラン 屋上コート（フットサル、テニス）
公園 広場	空間 イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 歩きたくなる素敵な緑 水路で囲まれる 畑があり、高齢者や子どもがふれあえる 	<ul style="list-style-type: none"> 南側は幅広い世代がゆったりすごせる場所 北側はアクティブなスポーツ、遊び場所 	<ul style="list-style-type: none"> 駅から出ると緑に囲まれたエリア シンボリックな大屋根 	<ul style="list-style-type: none"> 芝生や木々があり、涼める場所 夜景、天の川・七夕 	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市駅から視覚的な抜け（札幌大通公園） 季節の花が楽しめる 若者が集まる（ダンス） 	<ul style="list-style-type: none"> 収益施設（駐輪・駐車） 全天候型イベント広場 防災機能（水害対策）
	機能 施設	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ、BBQ、防災 アスレチック 屋外スクリーン 	<ul style="list-style-type: none"> 市民がくつろげる噴水 カリヨンの鐘を中心 防災（かまど、トイレ） フワフワドーム 	<ul style="list-style-type: none"> 全天候型屋根付き広場 デッキにジョギングコース、大階段（客席）で大規模イベント 	<ul style="list-style-type: none"> スイーツ、プリクラ ドッグラン 木登り遊具 	<ul style="list-style-type: none"> 広い天然芝 季節の木々や花 水路、池 	<ul style="list-style-type: none"> 地下駐輪場（4,000台） 地上はイベント広場 屋上は広場、広域避難場所
その他		<ul style="list-style-type: none"> エリアを一体的に使うため道路は通さないでほしい モノをリサイクルし、店も入れ替わることで循環するまち 	<ul style="list-style-type: none"> タワーマンションなど高層建物があると市民が集う場所に圧迫感を与える恐れ 	<ul style="list-style-type: none"> 施設から収益を生みだし、公園や街のタウンマネジメントを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 時間貸し、暫定利用など気軽に使える空間や施設 小さな施設を作って反応をみる「社会実験」 	<ul style="list-style-type: none"> 市民がくつろげる 外から人を呼び込める 	<ul style="list-style-type: none"> 施設をつくるだけではダメ、タウンマネジメントが大切 環境への取組として、未来エネルギーを導入

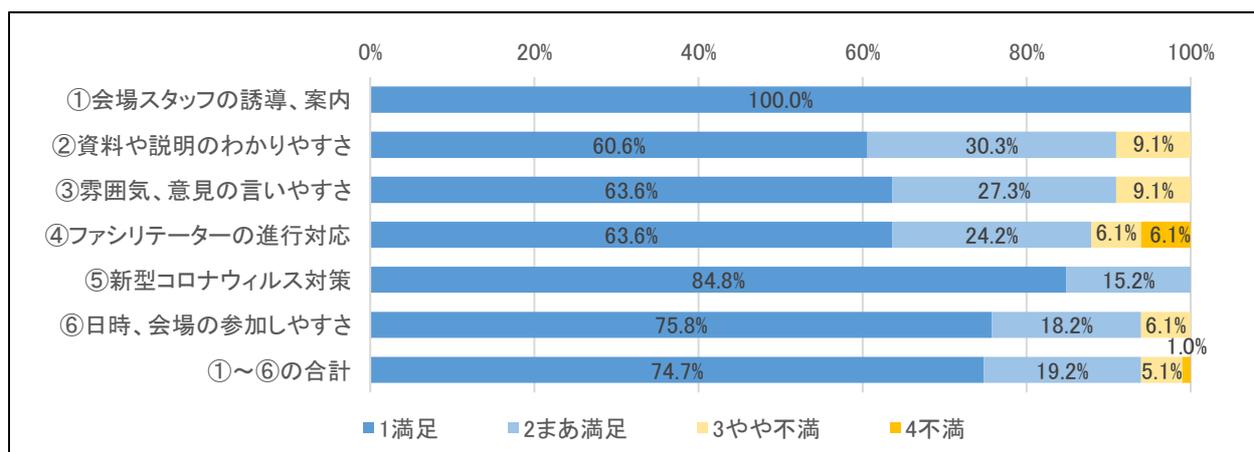
3-2 参加者へのアンケート結果

第2回ワークショップ実施後に、全2回のワークショップを通じた満足度、ご意見・ご感想などについてアンケートを行いました。（第2回参加者35名に配布、回答数33票）

【Q1 ワークショップの満足度】

6つの項目の満足度（1 満足、2 まあ満足、3 やや不満、4 不満）を伺いました。

- ・各項目で概ね9割が「満足」「やや満足」と評価されており、6項目の合計でも「満足」「やや満足」が約94%であることから、全体的には高い満足度が得られています。
- ・項目別には、②資料や説明のわかりやすさ、③雰囲気・意見の言いやすさ、④ファシリテーターの進行・対応の項目で、概ね1割が「やや不満」「不満」との回答がありました。



【Q2 ワークショップ運営、まちづくりに関するご意見、ご感想】

ワークショップ運営や今後の市駅周辺のまちづくりに関するご意見・ご感想を伺い、その主な内容としては、他の参加者の意見を聞ける良い機会になったという意見や、もう少し長時間議論したかったという意見、今後も情報提供やまちづくりの参加機会を継続してほしいなどがありました。

■ご意見・ご感想（抜粋）

- ・④街区の未来のすがたについて皆で構想を練ることはとても貴重な体験となりました。
- ・今回のような市民参加型のまちづくりワークショップは市民と行政の距離が縮まる良い機会だと思いました。
- ・考えていることやこんな空間になればと思っていることはわりとみんな同じなんだということに驚きました。
- ・話せば話すほど、更なるアイデアを思いつき、2回のワークショップという限られた時間では少し物足りなく感じる部分もありました。
- ・計画の進捗や新しい情報があれば、積極的に公開し、市民の意見を聞く機会があればよい。
- ・今後の進捗を枚方広報等で定期的に共有されると嬉しいです。
- ・人口減少はまぬがれないので、市民の数を増やせるような施策を立ててもらえればと思います。
- ・激動の時代、目先の集客などにまどわされず、長い目で見て市民や枚方に来られる方に必要なものを創って頂ければと思います。

3-3 むすび

今回のワークショップでは、再整備基本計画に掲げる魅力的なまちの実現に向けて、④街区の民間活力導入エリアに必要な都市機能や施設及び公園・広場の在り方について市民のみなさまの声をお聞きするため、一般公募及び大学への公募で参加を募りました。高校生から高齢者まで非常に幅広い年代の方々にご参加いただき、たくさんのご意見や活発な意見交換が行われ、再整備への期待がひしひしと感じられました。

今回のワークショップで市民の皆様から示された新たな視点やご意見を参考とし、枚方市駅周辺再整備の実現に向けた今後の検討に活かしていく考えです。

再整備基本計画では、「まちづくりを進める主役」として、「まちに関わるすべての人が主役となれる公民連携の環境・仕組みづくり」を掲げています。

今後、再整備を進めるにあたっては、魅力のある都市機能・施設整備に加え、在住者、事業者、学生、来街者など、多様な主体がまちづくりに関わることで、「まちをともに育て、価値を高める（エリアマネジメント）」視点が重要と考えております。

その実現には、市民の皆様継続的にまちづくりに関わっていただく必要があり、枚方市としても、まちづくりへの参画機会の提供や、情報発信に努めて参りたいと考えています。

引き続き、再整備の取組へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、ワークショップにご参加いただいた皆さまに心から御礼申し上げます。

4 資料



4-1 第1回ワークショップの結果

開 催 : 令和3年8月7日(土)
時 間 : 9時30分~12時
場 所 : 市役所別館第3・4委員会室
参加者数 : 38名

●第1回ワークショップの目的

『再整備基本計画の概要や他市事例の共有を図り、
④街区の将来イメージを検討する』

<第1回> A班の意見（抜粋）

<④街区のコンセプト・キーワード>

【人が集まり、交流が生まれる】

- ・多様性・老若男女が集まる
- ・新旧が融合するまち
- ・人が集まる魅力や目的がある

【住みやすい、定住につながる】

- ・お金がなくてもブラブラできる
- ・子どもが安心して過ごせる
- ・バリアフリー

【スポーツで人が集まる】

- ・プロ仕様のスポーツ施設
- ・若者がスポーツできる施設（バスケットボード、ボルダリング）
- ・体育館（アリーナ）でスポーツやeスポーツ
- ・地元スポーツチームが使うアリーナ施設（パナソニック、枚方FCなど）
- ・枚方周遊りレーマラソン（淀川など）

【公園の使い方】

- ・T-S I T Eと連携、芝生で読書、自習できる
- ・芝生やベンチを増やしてほしい
- ・キャンプ、BBQ、アウトドア、花火、イルミネーション

【お金がなくても楽しめる】

- ・畑（子どもが野菜を食べれる、高齢者が草取り、飲食店の残飯を肥料にする）
- ・服や日用品の修理、リサイクルができる
- ・パソコン、インターネットの相談ができる

【緑がいっぱいの空間】

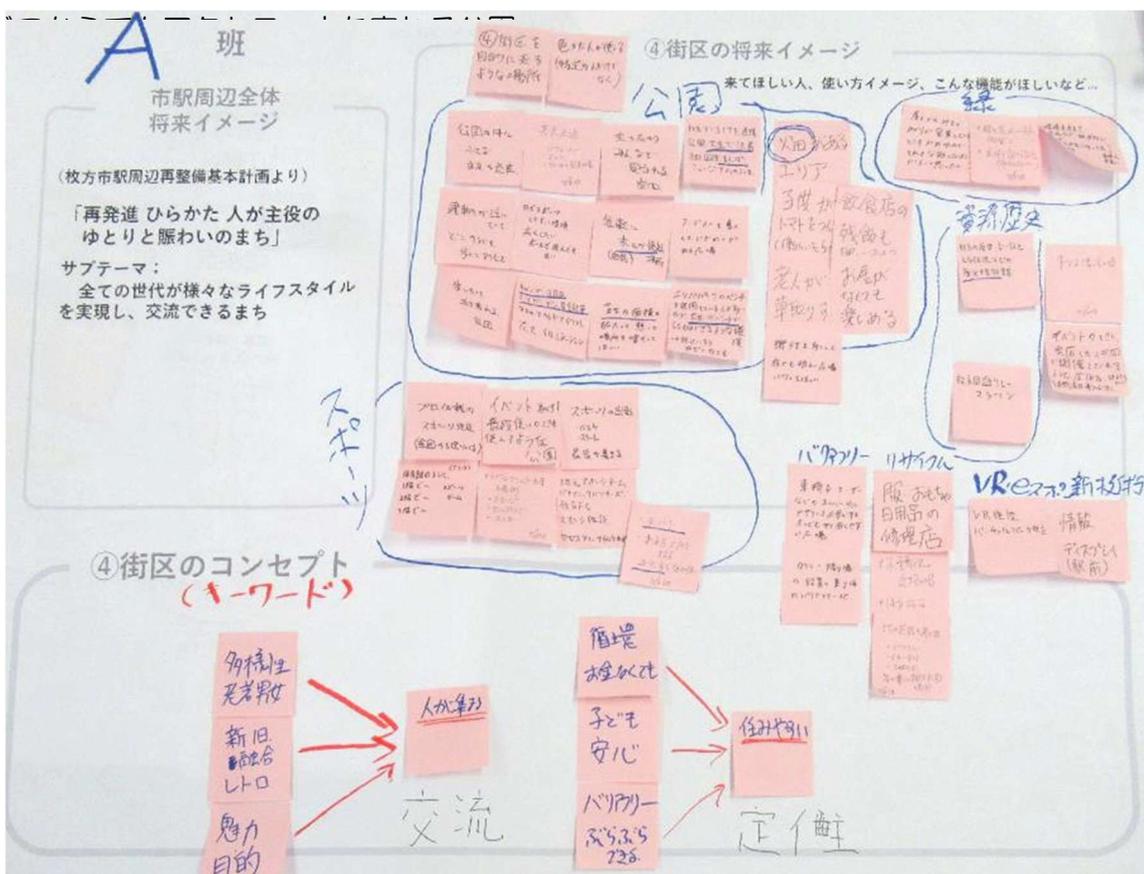
- ・緑と花がいっぱいの空間
- ・環境にやさしい空間

【枚方市の資源・歴史】

- ・歴史博物館、VR施設で枚方名所の体験
- ・天ノ川、東海道57次、五六市との連携

【バリアフリー】

- ・車椅子ユーザーが使いやすい、ユニバーサルデザイン
- ・タクシー降場の設置、乗場のバリアフリー化



<第1回> B班の意見（抜粋）

<④街区のコンセプト・キーワード>

- ・開放的
- ・空間の連続性
- ・緑の多い
- ・幅広い世代が訪れる
- ・体験、経験施設

【開放的、空間の連続性】

- ・枚方市民が憩える広場がほしい
- ・淀川河川公園とつながるウォーキングロード
- ・ドッグランなどの総合ペットサービス
- ・公園と川原町が結びつくような施設の配置
- ・デザイン性の高い施設（T-SITEと調和）

【緑の多い空間】

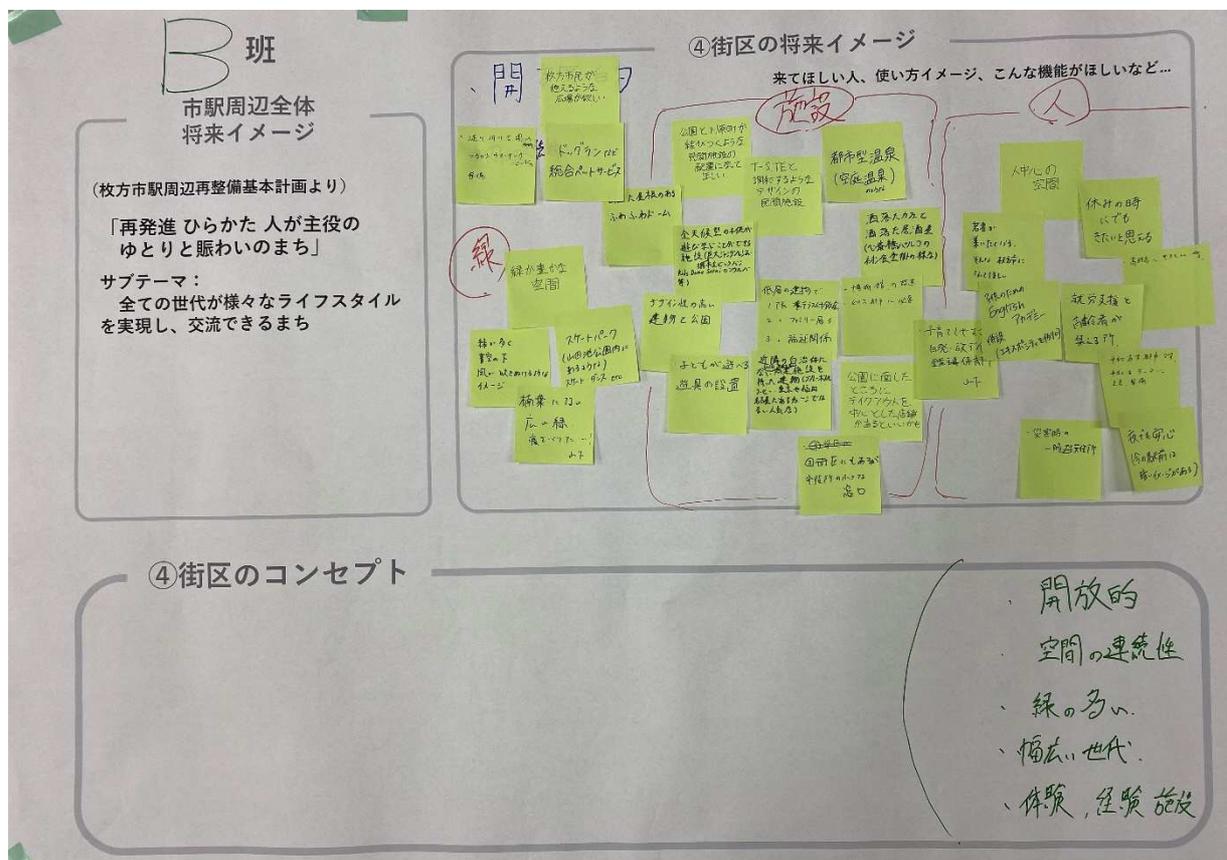
- ・緑が豊かな空間
- ・緑が多く、青空の下 風が吹き抜けるイメージ
- ・樟葉にない広い緑に寝そべりたい！
- ・スケートパーク（山田池公園）、ダンスなど

【施設】

- ・低層建物で飲食テラス、福祉施設
- ・都市型温泉（空庭温泉のような）
- ・近隣にない商業（チェーンではない人気店）
- ・公園に面したテイクアウト中心の店舗

【幅広い世代の人】

- ・人中心の空間
- ・休みの時にでも来たいと思える
- ・子育てしやすい（放課後等デイサービス、企業主導保育所など）
- ・English アカデミー（エキスポシティを例）
- ・若者が集いたくなる場所
- ・高齢者にやさしいまち
- ・就労支援と高齢者が集える場所
- ・平和をテーマに充実・整備
- ・災害時の一時避難所
- ・市役所の小さな窓口
- ・夜でも安心（今の駅前が暗いイメージ）



<第1回> C班の意見（抜粋）

<④街区のコンセプト・キーワード>

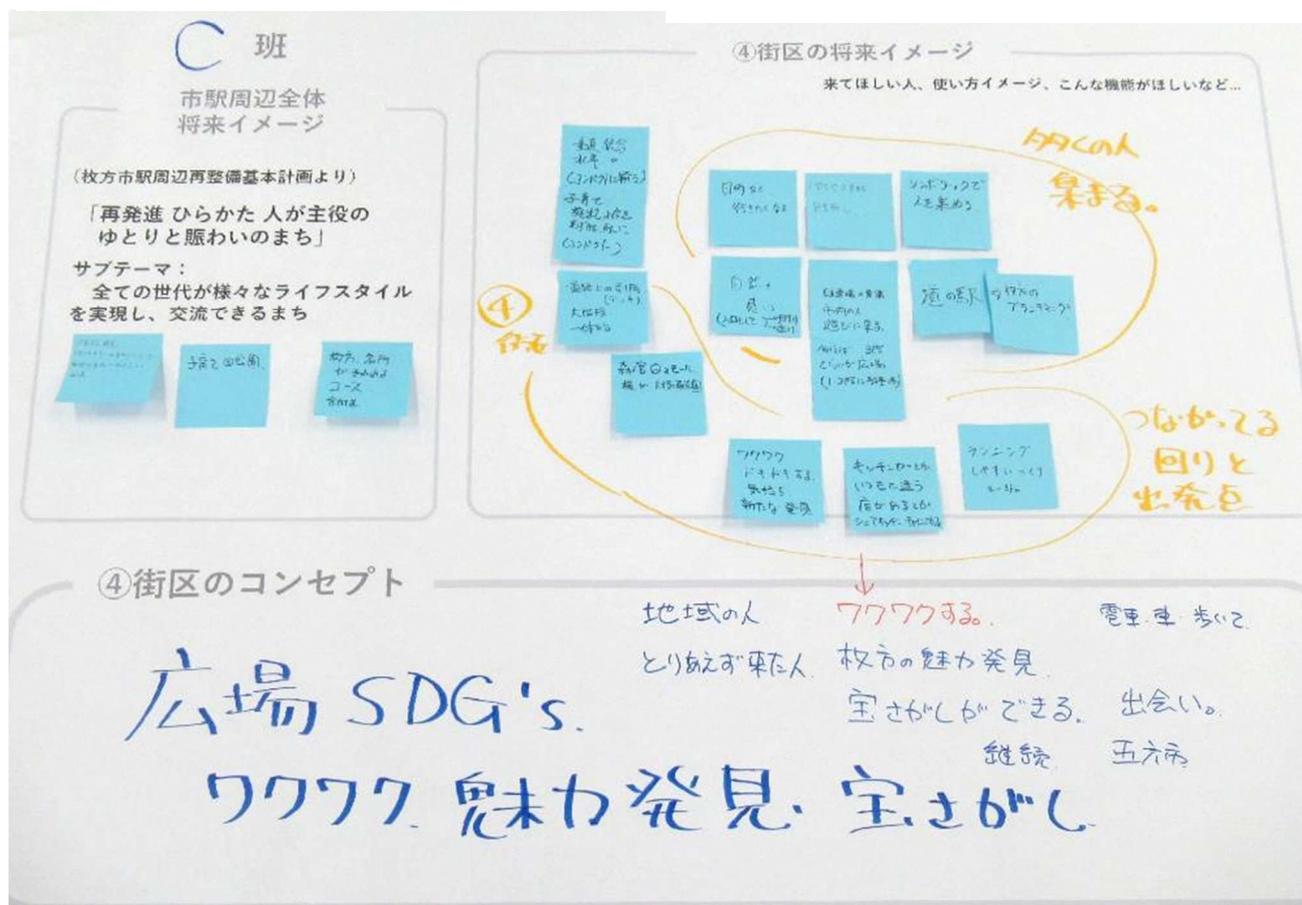
広場 SDGs 「ワクワク・魅力発見・宝探し」
(地域の人・とりあえずきた人、枚方の魅力発見・宝探し)

[多くの人が集まる]

- 目的がなくても行きたくなる場所
- アクセスはよいが目玉がない所が課題
- シンボリックで人を集める
- 市の周りに大きな自然がある。自然を感じる入り口として（天野川、淀川とのつながり）
- 市内や市外の人のため、駐車場を整備
- 3階くらいが大きな広場で、下が駐車場利用
- 国道に近いので道の駅のように、車で集まる
- 道の駅にして、枚方市の名産や産地野菜、グルメをブランディング

[つながり、周辺散策の出発点]

- 大きな建物は垂直・水平統合（コンパクトに揃うと便利）
- 子供の一時預かりがあれば駅を利用できる
- 道路の上空利用（デッキなど）と大階段で、公園と施設をつなぐ
- 森ノ宮 Qs モールを参考（大阪城公園と隣接、空中ランニングコース）
- ワクワク、ドキドキする気持ちになれるように。新たな発見があると楽しい
- キッチンカーとか、いつもと違う店があるとよい（シェアキッチンやチャレンジカフェ）
- ランニングしやすく、名所を見て回れる



<第1回> D班の意見（抜粋）

<④街区のコンセプト・キーワード>

- ・スポーツや体験型を契機として多世代の交流を活性化
- ・外国語大が立地していることなどを活かして、異文化交流の場を創出
- ・大きな公園を活かしたまちなみ、滞留できる場を
- ・「ここにしかない」価値を作る（樟葉やひらパー、大阪・京都にはない機能）

[スポーツ・アウトドア]

- ・都市型スポーツができる複合型スポーツ施設
- ・ドッグラン、体験型施設、グランピング

[緑、まちなみ・景観]

- ・並木、木陰をつくる、噴水など涼める設備
- ・緑を多くとった、ゆったりとした歩行空間
- ・夜景などの展望
- ・川原町との調和した低層のまちなみ
- ・タワーマンション（ランドマーク）
- ・商業施設から公園への滲み出し

[多世代、異文化交流]

- ・海外、地域外からの人
- ・人と人、高齢者と子どもが出会える場
- ・外国人と交流できる場

[市民の活動拠点]

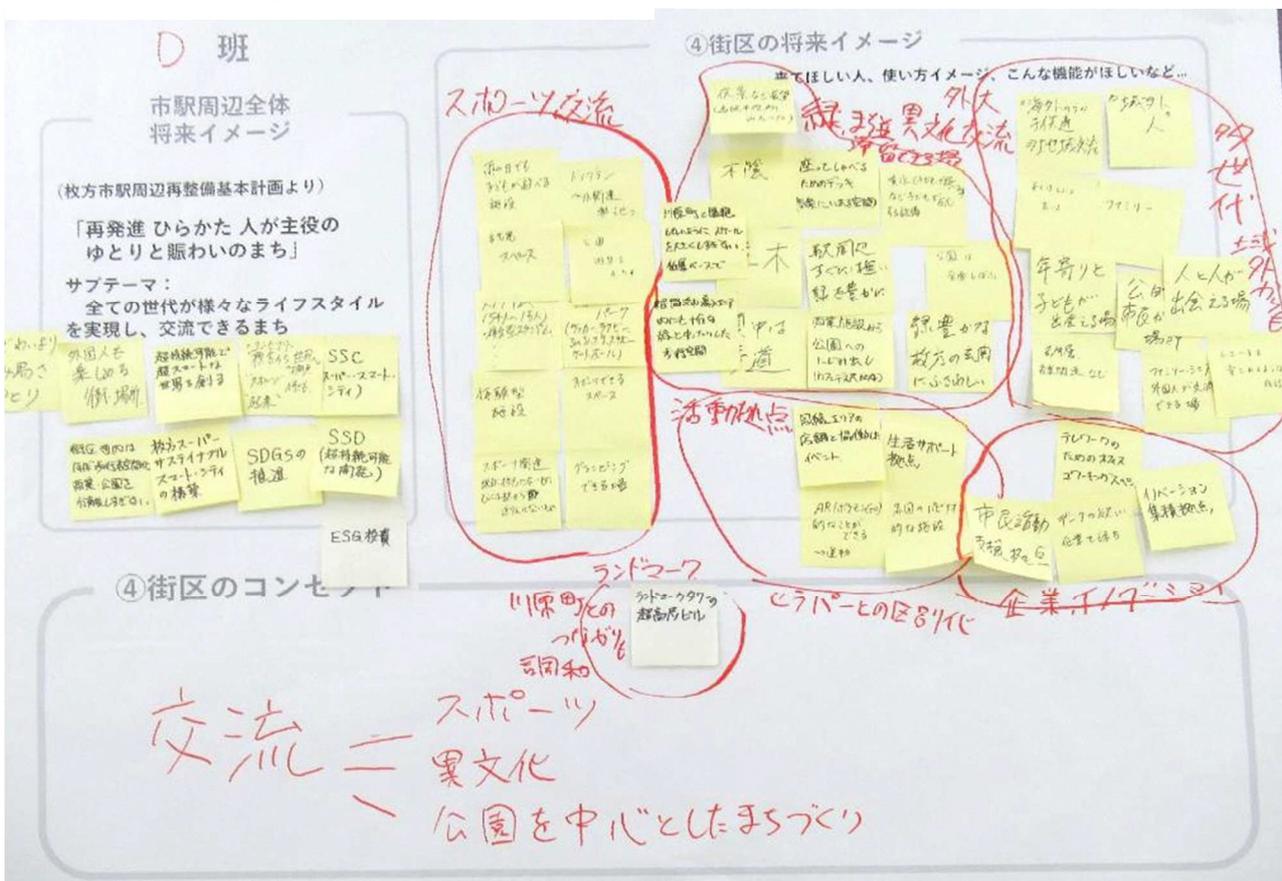
- ・周辺店舗と協働したイベントの場
- ・生活サポート拠点、市民活動支援拠点
- ・託児スペース

[企業活動・経済]

- ・コワーキングスペース（テレワーク）
- ・イノベーションの集積拠点
- ・国際的なまち、ホテル
- ・各国のパビリオンのような施設

[その他意見]

- ・SDGsの推進。サステナブルなまち
- ・住みやすさ、自然を活かす。ゆとりあるまち
- ・枚方駅前にはしかない目的地となる施設
- ・④街区の道路は歩道がいいのでは



<第1回> E班の意見（抜粋）

<④街区のコンセプト・キーワード>

- ・枚方市ならではの特色があること。（現状はそれが無い）
- ・学生を初めとする若者をうまく取り込むこと。（通学のために駅を利用するだけでなく、滞留してもらったり、市民との交流がもっとあったり。）

【駅前の機能】

- ・インバウンド客が途中下車したくなる
- ・市外／海外／地方から人が集まる

【こんな人に集まってほしい】

○学生・若者

- ・大学と連携した施設
- ・若者、学生が滞在したくなる
- ・学生が気軽に勉強することもできる場所

○家族・子育て

- ・家族でゆったり過ごせる
- ・子どもが楽しめる広場
- ・安心して遊ばせられる（高槻の安満遺跡公園）

○高齢者

- ・高齢者も家族連れに混じって休憩できる

【こんな施設がほしい】

○緑・公園

- ・水あそびができる噴水や水路、緑（木陰・芝生）
- ・ペットと楽しめるような公園（ドッグラン）
- ・暑い日でも来たくなる涼し気のある公園

○アウトドア施設・店・商業

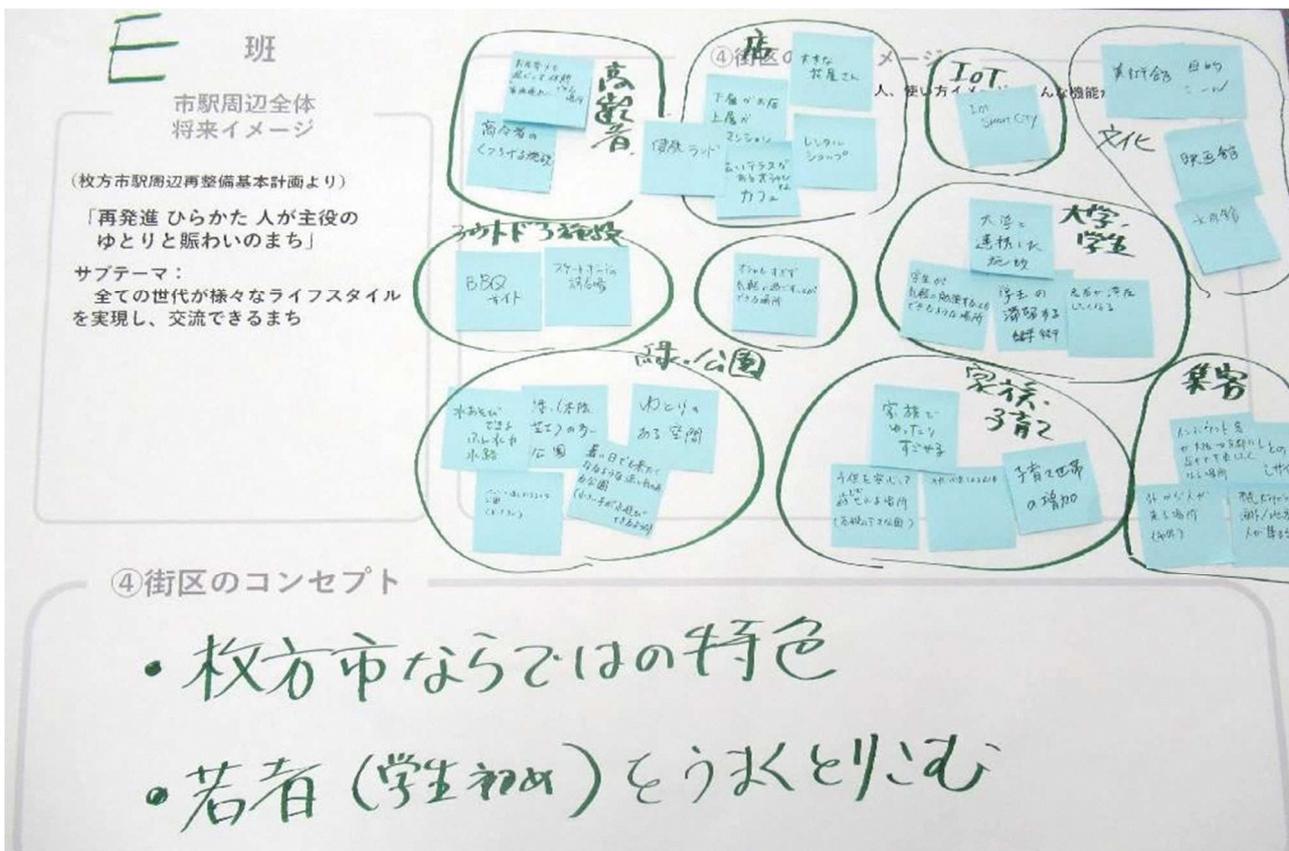
- ・BBQサイト、スケートボードの試合場
- ・大きな花屋さん、レンタルショップ
- ・広いテラスがあるオシャレなカフェ
- ・下層がお店、上層がマンション

○文化施設

- ・美術館、映画館、水族館、多目的ホール

【その他意見】

- ・オシャレすぎず気軽に過ごせる場所



<第1回> F班の意見（抜粋）

<④街区のコンセプト・キーワード>

公園・道路・施設をばらばらにするのではなく
一体的・シームレスに利用するまち

【公園】

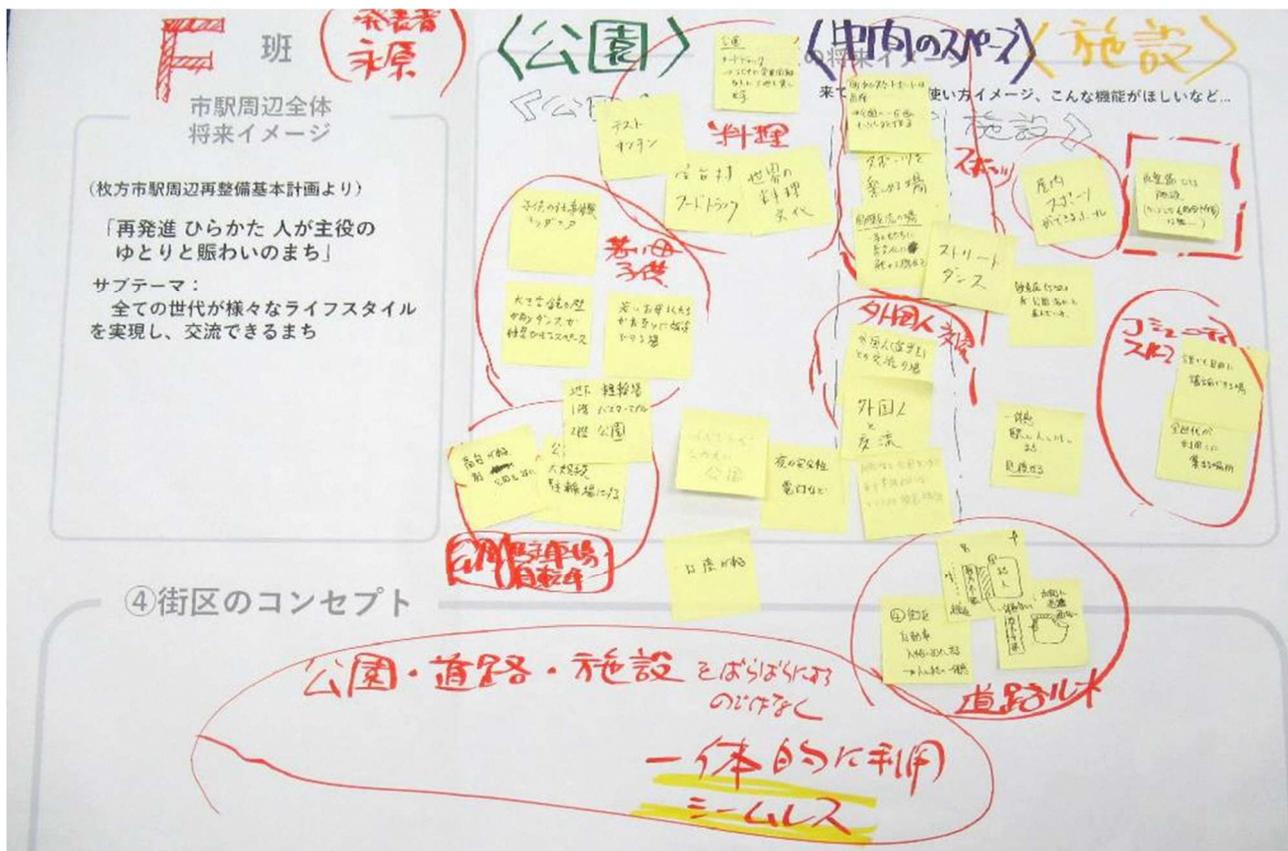
- 若いお母さんと子ども
 - ・若いお母さん達が互いに相談できる場
 - ・キッズニア（子ども仕事体験）
 - ・大きな鏡の壁がありダンス練習ができる場所
- 駐車場・駐輪場
 - ・地下駐輪場、1Fバスターミナル、2F公園
 - ・公園地下を大規模な駐輪場、公共駐車場にする
- 利用
 - ・夜の安全性（電灯など）
 - ・誰もが利用しやすい公園
 - ・日陰がある公園
 - ・イベントしやすい公園

【中間スペース】

- フードを楽しむ
 - ・世界の料理が楽しめるテストキッチン
 - ・屋台村（フードトラック）
 - ・飲食店が公園に並んでいる
 - ・川原町と公園をつなぐテラス付き飲食店
- 屋外でスポーツが楽しめる
 - ・公園内スケートボードパーク
 - ・ストリートダンス
- 国際交流のまち
 - ・外国人（留学生）との交流の場
 - ・子供達が異文化に触れる機会
- 道路
 - ・④街区に車が入れないように
 - ・道路ルートは施設の裏（東）へ

【施設】

- コミュニティスペース
 - ・誰でも自由に議論できる場
 - ・全世代が利用しに集まる場所
- スポーツ
 - ・屋内スポーツができるホール
- その他
 - ・再整備できる施設（区分所有では難しい）
 - ・駅と人と川を見渡せるまち



第2回ワークショップの結果

開 催 : 令和3年8月21日(土)
時 間 : 9時30分~12時
場 所 : 市役所別館第3・4委員会室
参加者数 : 35名(市民)

●第2回ワークショップの目的

『④街区の民間活力導入エリアに必要な機能や施設
及び公園・広場の在り方を整理する』

<第2回> A班の意見（抜粋）

巡り つながる 縁（緑）のまち

【ターゲット・コンセプト】

- 枚方市民をメインターゲットとし「枚方市民になりたい」と思えるまちをめざす
- 「お金がなくてもブラブラできるまち」として、施設になるべくお金を使わず、低層階を中心に全体に緑を配置する
- 「交流」老若男女、多様性のある人々が集うことで縁ができる
- 「循環・リサイクル」畑やリサイクル店などでモノが循環する仕組みがあり、キッチンカーや移動図書など、お店も入れ替わり立ち替わりする

【施設配置】

- 歩きたくなる素敵な緑があるエリア。エリアを一体的に使うため、道路は通さないでほしい
- 近江八幡のように周囲に水路を巡らせ、遊歩道でウォーキングもできる。歩道は、車椅子の方やベビーカーが通りやすい道とする
- 長屋のような低層店舗を配置し、外国語大学と連携し、地域の方が使える外国語カフェ、高齢者のパソコン、スマホ相談所、子育て用品などのリサイクル・修理店などが入る
- ボルダリング、スケートボードができるエリアと、若い方がボール遊び、飲食、演奏など自由に使えるルールで縛られないエリアとする
- 畑では年配の方が楽しめる、子どもが野菜づくりを学べる
- キャンプ、BBQエリアはかまどベンチ、マンホールトイレなどの防災機能を備える
- 芝生ではアスレチックや、外で映画が見られる屋外スクリーンなどを備える



<第2回> B班の意見（抜粋）

幅広い世代が集う 次世代と地域につながる空間

【広場ゾーン（西側）】

- ・ニッペパーク岡東中央を延長した広場、平和非核宣言都市、弾薬庫があった歴史のシンボルとしてカリヨンの鐘を残す
- ・市民がくつろげる場所として噴水を設ける
- ・地震に備え、災害時にかまどになるベンチ、トイレになるマンホールを整備する
- ・広場のT-SITE側は幅広い世代がゆったり過ごせる場所、市役所本館跡はアクティブなスポーツや子どもが遊べる空間

【施設ゾーン（東側）】

- ・高層建物ではなく、市民が集う場所には圧迫感を与えるため低層がよい
- ・T-SITE側は、3~4階建物に、飲食店、企業主導型保育園、児童発達支援の放課後等デイサービス、障がい者の就労支援施設、高齢者が集える施設を設ける
- ・建物の間にウォーキングロードをつなげて天野川や淀川につなげる
- ・道路を挟んで南側は屋内スポーツ（フットサル、テニス、ボルダリング）で幅広い世代がスポーツできる場所を設ける

【道路】

- ・道路は人が中心とする。車がスピードを出して通ると、施設と広場が分断されてしまう。シェアードスペース（ストリート）という意図的に車と人を混在させる考え方とする。道路断面を工夫し、車が速度を出さず、公園と街路、施設のオープンスペースが一体的につながり、道路が境界線とならない空間とする



<第2回> C班の意見（抜粋）

駅から一步踏みだせば あなたのライフステージを彩るまち

【広場を中心に、周辺と関係性をつくる】

- 駅を出るとT-SITEの前は、緑に囲まれた公園となる。ニッペパーク岡東中央は、全天候の屋根付き広場で、市民の運動やイベントなど、毎日使われている。駅から公園を見るとシンボリックな屋根が見える
- 公園の両側は、店舗があり、フードコートになっている。商業施設は、道路上空は階段やテラス、イベントステージとなっており、安全と公園の一体感がある。施設2階はデッキで繋がり、一周400mのジョギングコースである
- デッキには大階段があり、イベント時に観客席になることで大規模イベントも開催できる

【多様なライフステージがすこせる施設】

- 高層建物には、オフィスやマンションなど暮らしの機能が集まる
- 大阪・京都の先端企業の本社を誘致する。TSUTAYA 家電や、公園と一緒にDIYなど出来るホームセンターなど、体験や滞在ができる。ARパークは、先端のeスポーツやゲームができて、オフィスの実験も使えるので、新たなビジネスやインキュベーションが生まれる

【維持管理の考え方】

- 施設から収益を生みだし、公園や街のタウンマネジメントを行う



<第2回> D班の意見（抜粋）

枚方 × 交流 ができる場所 『ひらば』

【コンセプトの考え方】

- ・スポーツ、カフェ、芝生、遊びの機能を導入し、アクティビティにより交流を促す。また気軽に利用できるスポーツ施設により、スポーツ参加へのハードルを低くする
- ・機能が決まった施設を整備するのではなく、砂浜や芝生など、時間貸しや暫定利用などで様々な使える空間とする
- ・市民活動の連携を促す施設や、周辺の飲食店（カフェ、居酒屋など）で買ったものを飲食できる芝生広場、周辺との連携、活性化を促す施設とする
- ・最初に大きな施設を作るのではなく、小さな施設をつくって反応をみる「社会実験」を通してまちをつくっていく

【大きな広場スペース】

- ・広場の芝生や木々があり、涼める場所、イベントできるスペース、子どもが遊べる遊具
- ・芝生周辺にはスイーツやプリクラが楽しめるゾーン、ドッグランを配置する
- ・真ん中の道は車道ではなく、歩ける道とする

【市民活動支援センター】

- ・インキュベーションスペース
- ・フューチャーセンター（※官・民・産・学・NPOや現場の市民等でオープンに学び、課題解決や新規アイデア・企画）
- ・子どもの雨の日の遊び場、図書館、博物館

【スポーツエリア】

- ・砂浜（ビーチバレー、サッカー、BBQ、グランピングが楽しめる）
- ・フットサル、バスケットボール施設は、気軽に来て使えるものとする
- ・夜景も見える公園管理棟



<第2回> E班の意見（抜粋）

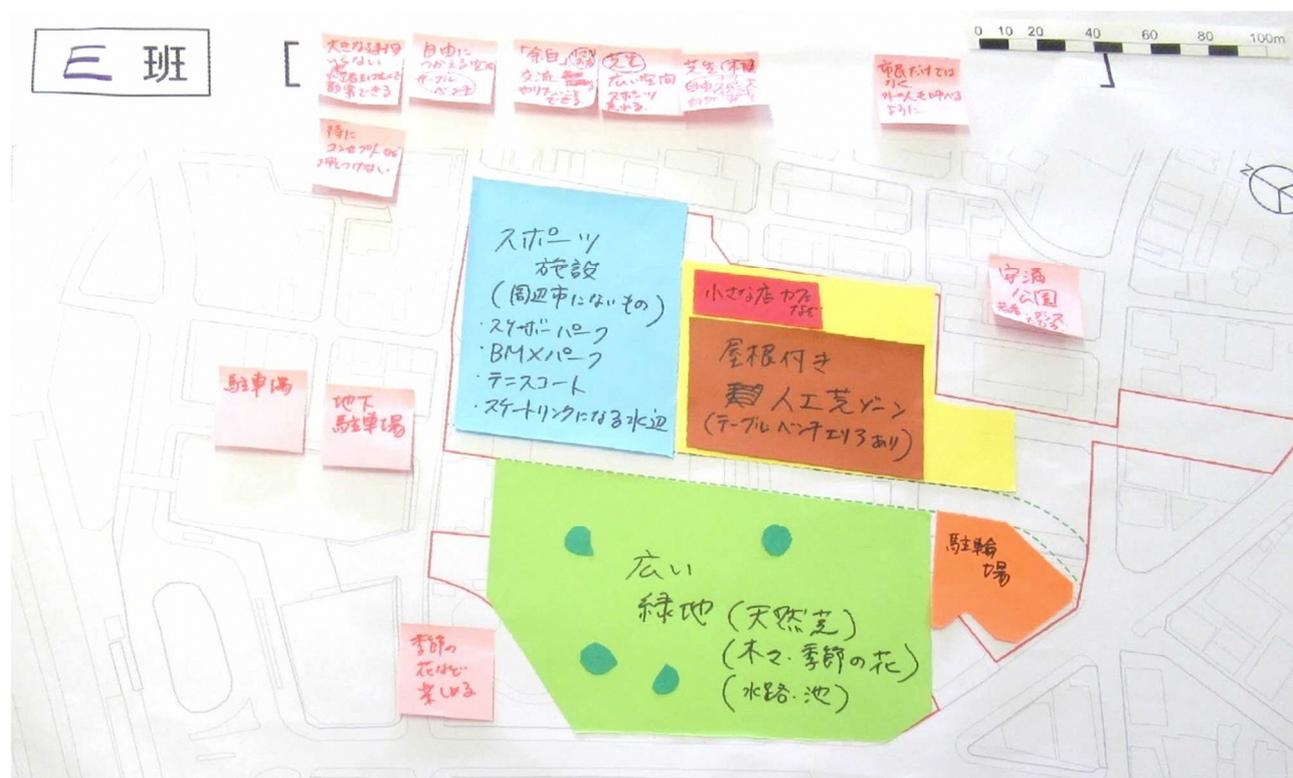
「余白」がある 広い空間 自由に使える空間 交流できる
市民の方がくつろげる 外からも人を呼び込める

【コンセプトの考え方】

- ・様々な意見があったので、1つの言葉にまとめず、コンセプトなどを押しつけない考え方
- ・共通する意見として、大きな建物（ハコモノ）をつくらない、市民の方がくつろげる、外から人を呼び込めるまちであるという考え方がある

【ゾーニング】

- ・スポーツ、屋根付き人工芝、広い緑地の大きく3つのエリアに分ける
- ・「広い緑地エリア」では枚方市駅から視覚的に抜けるスペースに広い天然芝、季節の木々や花があり、札幌の大通公園のような視界が抜けるイメージとなっている
- ・「スポーツエリア」は、外から人を呼び込むエリアとして、周辺にはあまりない屋外スポーツ施設（スケートボード、BMX、テニスコートなど）を整備する。また、枚方は暑い街なので、冬はスケートリンクとなる、夏は涼しい水辺を整備する
- ・「屋根付きの全天候型人工芝エリア」は、テーブルやベンチで学生や市民が集まり交流できる場所で、小さな店舗、カフェなどの集える施設も配置する



<第2回> F班の意見（抜粋）

いつでも人がつどえる つながる街

【コンセプトの考え方】

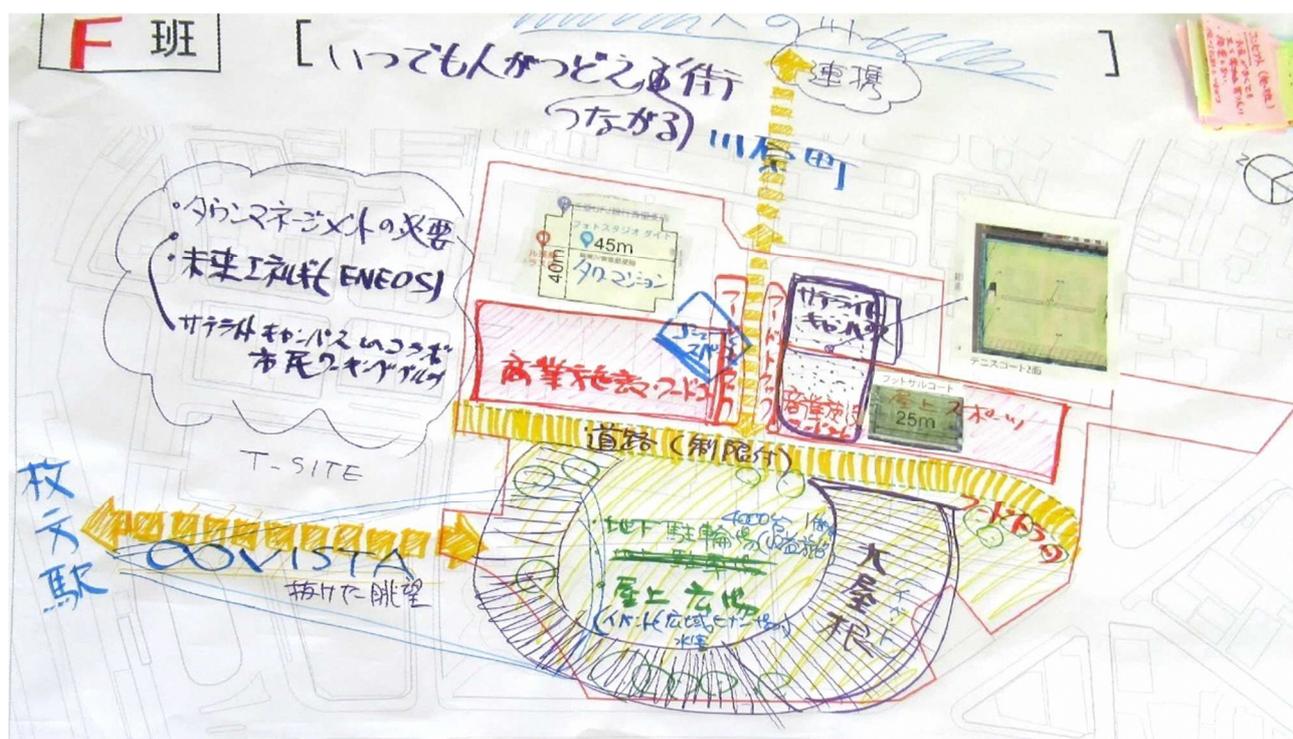
- 中心になる施設として、3層の大きな広場を整備する。大きな広場の地下、駐輪場と駐車場（駐車場は4,000台収容）の収益施設とする。広場には大屋根をつくり、雨でもイベントできるスペースとする
- 屋上広場は広域避難場所を兼ねることで、浸水エリアである駅前の水害対策にもなる
- 枚方市駅からの大屋根エリアは、開放感や抜けのある眺望を確保する

【施設配置】

- 枚方には多くの大学がある特色を活かし、大学と連携したサテライトキャンパスを設け、市民が学びを深められる場所とする
- 商業施設は、フードコートなどがあり、レストランでランチや洒落たディナーができ、屋上でフットサルなどスポーツもできる施設とする
- 道路は、安全を確保するため、制限付きとし、東西には、天の川につながる歩行者専用の動線をつくる

【維持管理の考え方】

- 施設を維持していくため、つくるだけではダメで、タウンマネジメントの考え方が大切である。そのため、サテライトキャンパスで大学と連携し、市民ワーキンググループを行うなど、市民参加型のしくみをつくる
- 環境への取組として、未来エネルギーを導入する



ワークショップ参加者のご意見・ご感想（実施後アンケートより）

【ワークショップに参加した感想】

- 市民の皆様が市のことについて思うことを言えるような場でとても良かったです。
- 今回のような市民参加型のまちづくりワークショップは、市民と行政の距離が縮まる良い機会だと思いました。ありがとうございました。
- 考えていることやこんな空間になればと思っていることは、わりとみんな同じなんだということにおどろきました。実現していくにはいろいろな課題があると思いますが、誰がつくっていくかはとても大事だと思います。将来が楽しみだなと思いました！
- まちづくりを勉強することができとても良い経験になりました。ありがとうございました。
- ④街区の未来のすがたについて皆で構想を練ることはとても貴重な体験となりました。ありがとうございました。
- 第1回はただ意見を言っただけだったが、今回のワークショップでは自分の思った意見にプラスでグループから出た意見も入れて話し合えた。
- 意見を出したり話したりする時に何をターゲットに置くのかが大切だと思いました。1回目のワークショップでは絞り込みができていなく意見もバラバラで話が進まない状態があったのですが、2回目のワークショップでは前回の反省を踏まえまず絞り込み、ターゲットを決めることによって話が進むと思いました。
- 枚方市駅周辺の再整備に、スポーツの推奨やアクセスの良さ、魅力の創造や大学との連携など、市民のいこいの広場となるように各グループが様々な方向性を設定して考えた発表を聞いて、1つの物事に取り組むだけでも沢山の種類と多様な考え方があるのだと学びました。

【ワークショップ運営、議論の進め方に関するご意見】

- ファシリテーターの方が、自分が言いたい意見をうまくまとめてくださったのできげなく意見を発表することができました。初めは自分より年上の方ばかりでとても緊張していましたが、みなさんのあたたかい雰囲気のおかげで楽しく経験をつむことができました。
- 班の意見をまとめるのが難しいと思った。時間が足りなかったのもっと長時間のワークショップだったら良かったと思う。
- 本当はどこかの企業とコラボして…という所まで議論できたら良かったのですが、できませんでした。そこは少し残念です。コンセプト、機能などそこに至るまでの話が重要だったのでやむを得なかったのかと思います。
- 話せば話すほど、更なるアイデアを思いつき、2回のワークショップという限られた時間では少し物足りなく感じる部分もありました。
- 周辺地図など今回の街区の外側の資料があるとより深い議論ができたのではないかと思います。
- 現況に関する資料が対象地に関する資料だけだったので議論する上で考慮しにくかった。周辺の地図、現況利用などがあれば。
- 再整備基本計画の全体像が漠然としており、その中で④街区の位置付けに公園以外の民間活力が漠然としすぎて（あまりに0からなので）議論が難しく、先に市の大きなコンセプトがあった方が分かりやすい。初対面、年齢の異なる者がいきなりグループワークは話が難しい。まとめて発表というパタ

ーンなので発表をまとめる討論になってしまい残念（せっかく打ち解けて話がはずんできたところ
で）。ファシリテーターの進行が稚拙で討論が異なっている感じ。

- ・前回ワークショップで写真を持参してくださいとあり、私の班でも計3人が持ってこられていました。
やはりプレゼンがあった方がよかったと思います。

【今後のまちづくりへの参画機会など】

- ・枚方市駅周辺再整備は、市民の関心が高いと思うので、計画の進捗や新しい情報があれば、積極的に
公開し、市民の意見を聞く機会があればよいと思う。
- ・今後も行政と市民が交流できる場があれば幸いです。
- ・各班がまとめた結果がどうなったかの報告もほしい。
- ・今後の進捗を枚方広報等で定期的に共有されると嬉しいです。
- ・今後もこのような機会があれば参加したい。
- ・ワークショップのまとめができれば、再度シンポジウムやワークショップ、説明会を行い、市民との
対話を継続して頂きたいと思います。
- ・この2回で終わらせるのではなく、各6班から出た案を2～3案に絞る作業を実施する回を設け、引
き続きまちづくりに少しでも参加できれば有難いです。予算も踏まえた議論につながっていければい
いと感じました。
- ・様々な意見を持っている人とお話ができて楽しかったです。是非続編やってください。
- ・第3回ワークショップがあれば施設に誘致する企業について具体的な策を出したり、ソフト面のアイ
デアを出したりなどできたかと思います。数年後の市駅周辺の姿を楽しみにしています。

【市駅周辺のまちづくりに関するご意見】

○まちづくり全体に関して

- ・人口減少に伴う税収減はまぬがれないので、市民の数を増やせるような施策を立ててもらえればと思
います。
- ・基本計画の文言は重要な点が押さえてあったと思うので、空間にも落ちるようになればと思います。
- ・今回のワークショップでは、いろんな方が色々意見を出されていましたが、激動の時代、目先の集客
などにまどわされず、長い目で見て市民や枚方に来られる方に必要なものを創って頂ければと思いま
す。
- ・地の利（学生の町、天の川、京都大阪間中央、近くに樟葉（大型ショッピングモールはそっちに任せ
るなど）を活かして今後も④街区以外含めて全体で活用を検討して頂ければ幸いです。20年後も住
みたいと思える街を期待しています。

○施設、都市機能に関して

- ・④街区の中に車用の道路を通すと、公園エリアと民間活力エリアの一体性が損なわれ、④街区での交
通事故も考えられるため道路は通すべきではないと思う。
- ・今よりもっとユニバーサルデザインが広まるまちになってほしいと思います。
- ・駅の入口にその日と今後のイベントのディスプレイがほしい。
- ・枚方市内の各商業施設に「ポケットチェンジ」を増設してください。

- ④街区に民間活力を導入することは反対であることは変わりありません。行政機能をそのまま残すべきです。行政機能が遠くなることは好ましくありません。
- タワーマンションはどのように建設しているのでしょうか。30年後には廃棄もできず維持費が大変になったりしないのでしょうか。
- F班の提案の広場地下駐輪場 4000 台規模を是非実現させてほしい。4,000 台稼働率 50%でも年間 1 億円、経費 2000 万、8,000 万円程度の収益が出る。市民の足、人が集える駅前として大規模駐輪場は必須。
- ④街区の道路の制限は検討頂きたいです。
- 自分のグループとその他のグループの発表で、大きな建物はつくりずスポーツを若男女が楽しめ、全天候型の屋根付き芝生などを作るところが一緒であった。スポーツを通じて他の市から人を呼び込む、さらに市民にも使いやすくすると言った方向性が良いのではないかと思った。
- 自分のグループ内での議論や他のグループの発表を聞いて、公園と施設間の道路は無くした方がよいのではないかと思った。自分のグループ内では大きな施設があると公園の外観が悪くなるため、施設の所まで全て公園にすることになり、公園のど真ん中に道路は考えられないとして、道路は無くそうと決めた。他のグループでは、道路がありで考えられてはいたが「スピードを落として走行する」などの意見が出ていたため、それなら道路は無くても良いのではないかと思った。
- どのグループも人の動線を考えていたので、動線を 1 番に考えた方向性がいいと思いました。

A班



B班



C班



D班



E班



F班



枚方市駅周辺再整備④街区民間活力導入エリア
のあり方を考えるワークショップ活動報告

令和3年9月

【編集・発行】

枚方市役所 市駅周辺等まち活性化部

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町 2-1-20

TEL：072-841-1364（直通）

電子メール：shikasei@city.hirakata.osaka.jp